

公明党 代表 山口那津男 様

要望書

平成29年3月12日

南相馬市長 桜井勝延

福島県浜通り地方の復興につきましては、常日頃特段の御高配を賜り、地域住民とともに深く感謝申し上げます。

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から6年が経過し、当地域では、一刻も早く住民が安心して住み続けることのできる環境を取り戻し、復興・創生に向けて力強く歩んでいくため、各種復興事業に全力で取り組んでいるところです。

特に、福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想の推進、医療・介護人材の確保、除染対策は当市の復興・発展のために喫緊の課題となっております。

つきましては、下記の事項について要望いたします。

記

1 福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想の推進について

- (1) ロボットテストフィールド・国際産学官共同利用施設が国内外のロボット関連企業に活用されるようPRを強化するとともに、交流人口拡大に向けた取組を支援すること。
- (2) ロボット産業を集積させるため、企業立地を促す「自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金」や企業の技術革新を促す「地域復興実用化開発等促進事業費補助金」の期間を延長すること。また、意欲ある市外企業と地元企業のマッチング促進支援など既存企業への支援を強化するとともに、被災事業者の帰還・再建を促す支援「福島県原子力被災事業者事業再開等支援補助金」の継続と十分な予算を確保すること。

2 医師確保対策等について

不足する医師・看護師・薬剤師等の医療スタッフ及び障がい者支援施設・介護保険施設スタッフを配置すること。

3 放射性物質の除染対策について

- (1) 山林、河川、池沼等の除染について、除染手法の提示や財源を確保し、国が責任を持って行うこと。また、原子力発電所事故の周辺地域では、震災以降、河川環境整備がなされておらず、特に原子力発電所の 20km 圏内については住民の帰還意欲に悪影響を及ぼしていることから、洪水発生を防ぎ安全安心な市民生活、及び農業用水取水や耕作における安全性確保のため、国の責務において、河川環境を整備すること。
- (2) 除染の進捗や中間貯蔵施設への安全かつ円滑な搬入のため重要となる道路の整備、特に、常磐自動車道の早期全線 4 車線化のため、十分な整備予算を確保するとともに、旧避難指示区域における復興インターチェンジ(仮称)を設置すること。また、汚染土壤の仮置き場への搬入及び中間貯蔵施設への搬出による更なる道路の破損等が懸念されることから、道路の拡幅及び路面破損時の修繕等を併せた仮置き場までのアクセス道路の環境整備について、現場の実情に即した柔軟な対応とそれに伴う安定的な財政措置を講じること。

4 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響を受けた地域における治安維持のための支援について

除染作業等のため他地域からの流入者が多く、居住環境が大きく変化している中、子供・女性・高齢者に対する暴力的事案が多く発生しており、地域住民は治安の悪化を懸念し、不安を抱えていることから、コミュニティの不安払しょくや治安対策のための、パトロールの実施及び監視カメラの設置、児童・生徒に対する防犯ブザーの配布等、各自治体が治安維持向上に向けて実施する取組に対して新たな制度の創設や財政支援を講じること。

以上